

南硫黄島周辺海底火山の最近の活動等について*

海上保安庁水路部

本会報第41号に報告した後の南硫黄島周辺海底火山の活動状況は、以下のとおりである。

ここで報告する期間は、1988年(昭和63年)6月2日から1988年(昭和63年)9月15日までである。

1. 福神海山	北緯 21度	56分
	東経 141度	28分
日光海山	北緯 23度	04.5分
	東経 142度	18.5分
南日吉海山	北緯 23度	30.4分
	東経 141度	54.3分
海徳海山	北緯 26度	07.3分
	東経 141度	06.1分

第1表に示すように、この期間はいずれの海底火山にも変色水は認められなかった。

第1表 福神海山、日光海山、南日吉海山及び海徳海山の火山活動の経過

Table.1 Volcanic activities of the Hukuzin Seamount, the Nikko Seamount, the Minami-Hiyosi Seamount and Kaitoku Seamount.

年 月 日	観 測 結 果	出 所
1988. 6. 15	変色水を認めず。	海自航空機
7. 21	〃	〃
8. 12	〃	〃
9. 15	〃	〃

* Received Dec. 23, 1988

2. 福徳岡ノ場 北緯 24度 17.0分
東経 141度 29.1分

第2表に示すように、この期間はその規模の大小の差はあるが変色水が認められている。

第2表 福徳岡ノ場の火山活動の経過

Table.2 Volcanic activities of the
Hukutoku - Oka - no - Ba.

年 月 日	観 測 結 果	出 所
1988. 6. 15	東西450m, 南北100mの薄い変色水を認めた。	海 自 航 空 機
7. 21	直経約600mの薄緑色の変色水を認めた。	〃
8. 12	南北900m, 幅90mで北側青色, 南側緑色の変色水を認めた。	〃
9. 15	東西1800m, 南北50mの変色水を認めた。	〃

3. 伊豆大島

昭和63年6月2日、変色水は10ヶ所認められたが、色はいずれも薄く、火山活動は低調のようである。 (海保航空機)

昭和63年8月24日、変色水は5ヶ所認められたが、6月の調査同様、色は薄かった。 (海保航空機)

4. その他

昭和63年6月2日、伊豆諸島新島の調査を実施した結果、変色水を認めた。変色水は、ほぼ島の海岸線全域にあり、色は主に青白色で薄い、その中に6ヶ所濃い箇所があった。 (海保航空機)

昭和63年8月24日、伊豆諸島新島は6月とほぼ同様で、状況に変化はなかった。

なお、青ヶ島、三宅島、八丈島、ペヨネーズ列岩では変色水は認められなかった。 (海保航空機)

(注) 「海自航空機」とは、海上自衛隊第四航空群所属航空機P-3C, 「海保航空機」とは、海上保安庁所属航空機YS-11のことである。